

学校の様子・子供の様子

*** 「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査から」 ***

年度当初、4月18日に6年生を対象とした「全国学習・学習状況調査」が実施されました。本校の6年生も国語・算数のテストと学習意欲や生活習慣などに関する意識調査（質問紙）に取り組みました。

今年度から問題の出題形式が変わり、A問題（基礎的な問題）とB問題（応用的な問題）の区別がなくなり、基礎と応用の両方の内容を含んだ14問ずつのテストでした。結果、考察は下記のとおりです。

【国語・算数テストより】

	本校6年生	鳥取県	全国
国語	83	63	64
算数	84	66	66.7

○国語では、「読むこと」に対する正答率が高く、文章からの読み取りがしっかりできる力をつけている。しかし、「書くこと」に対する正答率はさほど高くなく、自分の考え等を文字であらわす力を高める必要がある。

○算数は領域ごとのバランスが良い正答率になっている。

※国語・算数ともに全国・鳥取県の平均よりも高い数値となりました。本校では、授業に落ち着いて取り組んでいるなど学習環境が整っていることや家庭でのご支援があり、子供たちに学力をつけることができていたことが分かりました。

【質問紙より（抽出）】

○「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」の質問では、ほぼ全員が肯定的な回答をしています。交通機関を利用する子供も多いですが、前日の就寝時刻に関わらず、きちんと起きて登校できています。ご家庭でも生活リズムについてご配慮いただいていることが分かりました。

○「人が困っているときは、進んで助けていますか。」の質問でも、ほぼ全員が肯定的な回答をしています。友達を大切にして、お互いに力を合わせて学校生活を送っていることがうかがえます。

△「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。」の質問では、消極的な回答の数値がやや高かったです。結果を求められることで、失敗を恐れていると考えられます。取り組んだ過程が大切なこと、その取組に対して周囲のフォローをすることを考えていく必要があります。

※生活リズムや環境は、学校だけの取組では身に付かないことですので、お子様の様子に応じてご協力いただきますようお願いいたします。

*** 1年 ***

「生活科授業研究会」

1月14日に生活科の校内授業研究会がありました。「ふゆとあそぼう」の学習で、“冬”を感じられるものを見つけて校内を探検し、見付けたことを友達に伝え合いました。雪がない中、秋と比べて変わったところを絵で表したり、自分の言葉で伝えたりしました。

10月下旬に研究発表大会を終えましたが、研究は終わりではなく、発表大会での意見を聞き、授業改善を行ったり、共同研究者の指導を仰いだりして、引き続き行っています。



*** 6年 ***

「キャリアに拓く（工学部）」

1月22日に、6年生が「キャリアに拓く」の学習で、工学部に行きました。工学部の櫛田先生方にお世話になり、主にプログラミングの体験をしました。キャタピラ車の回路を作成して、実際にキャタピラ車を動かしたり、スマートフォンアプリのプログラムを作成したりしました。パソコン画面に表示されるプログラムでうまく動かかを考えながら作成したり、試したり、修正したりして、興味深く活動することができました。

